

ELGOLAZO 号 外
特 別 版

EG the Football Journal

INTERVIEW

宮代 大聖

あの悔しさを晴らし

アジア No.1 になる

チケット
好評発売中

チケット情報はこちら



ヴィッセル
神戸



AFC CHAMPIONS LEAGUE ELITE™

LEAGUE STAGE MATCH DAY 6

2025.12.9 (Tue)

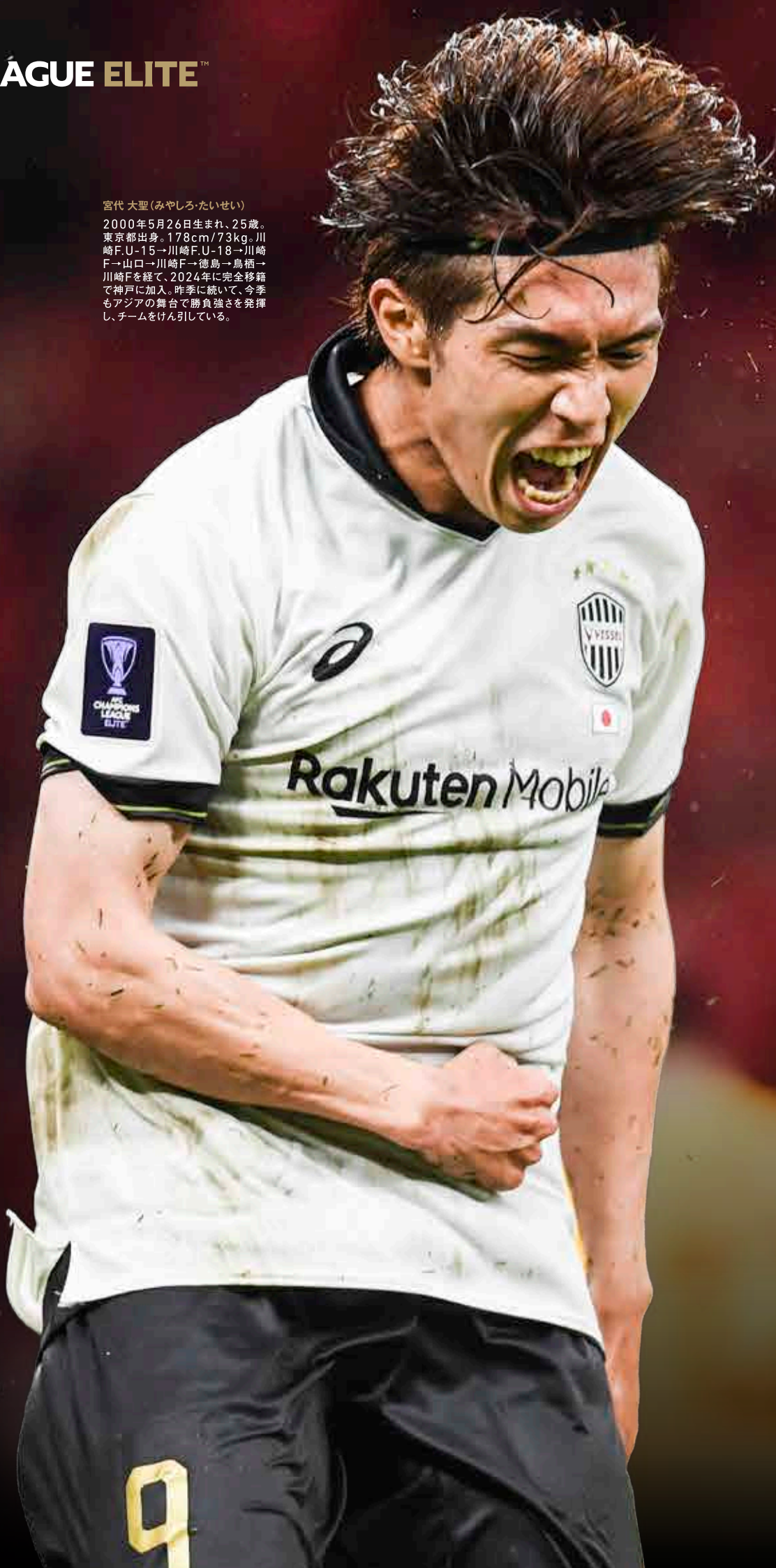
19:00 KICK OFF 神戸市御崎公園球技場



成都蓉城
(中国)

宮代 大聖 (みやしろ・たいせい)
2000年5月26日生まれ、25歳。
東京都出身。178cm/73kg。川崎F.U-15→川崎F.U-18→川崎F→山口→川崎F→徳島→鳥栖→川崎Fを経て、2024年に完全移籍で神戸に加入。昨季に続いて、今季もアジアの舞台で勝負強さを発揮し、チームをけん引している。

自分のゴールで
勝たせたい



Taisei MIYASHIRO



FW 9

宮代 大聖

ヴィッセル神戸

AFCチャンピオンズリーグエリート(以下ACLエリート)でも奮闘を続ける神戸。

12月9日には今季の公式戦最終戦でもある第6節・成都蓉城戦が行われる。

今回、話を聞いたのはアジアの舞台でも活躍が光る宮代大聖。

ACLエリートに感じる面白さややりがい、
神戸のファン・サポーターへの思いなどを語ってもらった。

取材日:11月14日(金) 聞き手:小野 慶太

西アジアのクラブと対戦したい

——今シーズンの自身のパフォーマンスをどのように感じていますか。

「シーズン当初はケガもありましたが、そこからコンスタントに試合に出ることができました。リーグ優勝という目標には届かなかったですけど、(神戸に加入して)2年目でチームのやり方も理解していた中で自分のパフォーマンスを出せましたし、ゴール前でもより落ち着いてプレーできるようになったと感じています。去年優勝して相手に対策もされていた中で、そういう感覚を得られたのはよかったですね」

——9月から始まったACLエリート2025/26については、どのような感触をもたれていますか。

「アウェイのゲームに関しては、あらためて難しいと感じました。移動を含めてアウェイのスタジアムの雰囲気は日本では感じられないものです。その中でも勝点を積み上げられているので、非常にいいスタートが切れたと思います」

——宮代選手は第4節終了時点で3ゴールを挙げ、得点のない試合でもスルーパスやボール奪取で得点に絡んでいます。自身では好調の理由をどのように捉えていますか。

「Jリーグよりもスペースがありますし、チャンスが分かりやすいのも多少あるかなと思います。チームとしても、出場機会が少ない選手たちに出番が回ってくることもありますし、それぞれが結果を出したいと思っているはず。その相乗効果がいい結

果につながっているのだと思います」

——前回大会はラウンド16で光州FC(韓国)と対戦し、2戦合計2-3で敗れ、敗退となりました。あの試合をどのように受け止めていますか。

「自分はケガ明けでしたけど、コンディションもパフォーマンスもよくなかったですし、本当に悔しさだけが残る試合でした。あれがシーズン終盤だったら非常に苦しいですけど、そこからリーグ戦が続いていく形でし、そこはうまく切り替えられたかなと思います。ただ、あの試合だけを振り返れば、とてつもない悔しさがありますね」

——ACLエリートという大会の面白さ、魅力とは。「それぞれの国の色、リーグの色が表れると感じます。Jリーグに比べると、ほかの国は個々の能力を前面に押し出してくるチームが多く、局面のバトルが多くなる印象です。ホームチームのアドバンテージも大きいと思います」

——チームとしてはACLエリートにどのように向かっていますか。

「『アジアナンバーワンになる』というのが、チームの目標です。前回大会でああいう負け方をして非常に悔しい思いがありますし、一人ひとりが高いモチベーションをもってほしいと思います」

——ACLエリートでの個人的な目標はありますか。「個人として大きく考えたことはないですけど、得点をコンスタントに取りたいと思っています。リーグステージだけではなく、次に進んでいった中でも、

自分をいかに表現できるかはとても大事なことだと感じています」

——西アジアのクラブと対戦したい気持ちは。「もちろんあります。前回大会では、(古巣の)川崎フロンターレが(西地区のクラブと対戦する)ファイナルズに進んでいたの、試合も結構観ていました。環境は過酷そうでしたが、楽しそうでしたし、ああいう選手たちとやるのはまた違った難しさがあるのかなと感じました」

サポーターのためにも

——宮代選手にとって神戸のファン・サポーターとはどのような存在ですか。

「どんなときも変わらずに応援してくれますし、一緒に戦っているということをしっかり伝えてくれます。ACLエリートのアウェイゲームにも多くの人が出てくれますし、『そういうサポーターのためにも』という気持ちはずっともっています。だからこそ、どんなときでも自分たちらしいサッカーを表現し続けたいいけないという使命感をもっています」

——第6節・成都蓉城戦は今季公式戦のラストゲームになります。どのようなパフォーマンスを見たいですか。

「1年をととして、チームとして目の前の試合への準備をやってきました。最後の試合まで手を抜かずにいい準備をしたいと思います。ホームでの最後の試合にもなりますし、しっかり得点を取って、チームを勝たせたいです。勝利でシーズンを締めくくりたいですね」



成都蓉城(中国)

Chengdu Rongcheng FC

文・ピッチコミュニケーションズ Photos: ©AFC ※情報は11月23日時点

躍進遂げる新興クラブ。武器は国内最少失点の守備

2018年に誕生した中国の新興クラブで、4部相当でのスタートから2019年より3部、2020年より2部、2022年より1部とステップアップ。2024年に1部3位の成績を収め、今年8月のプレーオフを勝ち抜き、設立7年でクラブ初のAFCチャンピオンズリーグエリート本大会進出を果たした。

チームの指揮を執るのは、2部時代の2021年から就任5年目となる韓国人のソ・ジョンウォン監督。FWフェリペ、MFロムーロ、DFヤハフ・グルフィンケル、DFティモ・レッツヘルトら外国籍選手が主軸を担い、FWウェイ・シーハオなど中国代表経験者もそろそろ。今季の国内リーグでは最少失点、最多クリーンシートを記録。優勝こそ逃したが、上海海港、上海申花とシーズン終盤まで上位争いを繰り広げた。



KEY PLAYERS

DF 5

オランダ出身 32歳

ティモ レツヘルト

欧州での実績十分。
オランダ出身の大型CB

オランダ・エールディヴィジ通算135試合に出場し、イタリアやドイツでもプレーしたオランダ出身の大型センターバック。成都蓉城には昨年加入し、ディフェンスリーダーとして最終ラインを統率する。AZ時代には菅原由勢と同僚で、菅原が右SB、レッツヘルトが右CBで並んだ試合も多い。

Timo Letschert

MF 10

ブラジル出身 30歳

ロムーロ

かつてエリキとも
共闘したNo.10

成都蓉城の攻撃をけん引する背番号10のブラジル人アタッカー。韓国の釜山アイパークで4年、成都蓉城では今季5年目とアジアで豊富な経験を持つ。Jリーガーや日本人選手との関わりも深く、かつてU-23ブラジル代表でエリキと共闘。釜山では安田理大氏とチームメートだった。

Rômulo